

知ってますか?! シリーズ

vol.15

日本で最初の少年院「浪速少年院」 生まれたのは大正12年

日本の少年法は大正11年に制定され、閉鎖的であるけれども大阪少年審判所(後の家庭裁判所)から遠く、水質がよく、かつ農耕地が確保できる教育に適した場所として、茨木市郡山地区が選ばれ、大正12年1月1日に浪速少年院が開院されました。現在の浪速少年院がある敷地はかつての郡山城跡であるとされ、建築中には、礎石が掘り出されたとのこと。

少年法ができるまでは14歳以上の少年も刑事処分の対象とされていましたが、少年院が開設されてからは保護処分として更生に向けての矯正教育が必要と審判で決定した少年は少年院での教育を受けることとなりました。浪速少年院では開設当初から学科教育や実習教育、また、音楽会、クリスマス会を実施するほか、当時、大阪においても珍しかったプールが建設されるなど、少年の情操を育てるための教育・行事がさかんに行われてきました。

現在の建物は、平成8年に現地建替えにより完成したものであり、主に近畿地方の家庭裁判所で少年院送致の決定を受けた少年を収容して教育・訓練を行い、社会復帰に向けた準備を進めています。



初代の「浪速少年院」



現在の「浪速少年院」

2017年新春コトはじめ!?

ダーツ入門セミナー

平成29年2月12日(日)

午前10時30分~午後4時(予定)

場所:茨木市男女共生センターローズ WAM501号室

住所:茨木市元町4番7号



「今年は何か新しいコトを始めたいなあ」と思いながらも、何が良いのかお考えの方!ダーツを始めてみませんか?ダーツ競技は年齢、性別に関係なく誰でも手軽にプレーできます。興味はあるけどダーツのルールが分からない、矢をうまく投げられるか不安...という方も大丈夫!ルール説明から投げ方のコツまで丁寧に解説するダーツ入門セミナーを開催します。ぜひお気軽にご参加ください!!

- 参加費:一般/1,500円、茨木市観光協会会員/1,000円
- 定員:先着30名(定員になり次第締切)
- 申込:2月10日までに氏名、住所、電話番号、参加人数を記入し、ファックスまたはEメール、電話にてお申し込み下さい。
- 備考:昼食代は別途必要です。
- 申込・問い合わせ先:茨木市観光協会
電話:072-645-2020/FAX:072-645-3020
Eメール:i-info@ibaraki-kankou.or.jp



茨木市観光協会発! 街のアレコレノート



vol.24
2017 初春号

こんなところに明治遺産?! 140年前にレンガと石垣で造られた 鉄道橋を探検してきたよ!

見た目はトンネルだけど、鉄道側からすれば「橋(橋梁)なんだ。レールの下を水が流れば橋だよ。水以外に人や自転車、車も通っているんだ。最近アンダーパスと英語で言う事が多くなってきたみたいだね。

明治9年、大阪一日町間に官設鉄道が開通した時に、茨木市域では二十数か所の橋梁が造られました。なかでもレンガと石垣が今も簡単に見られる場所を紹介します。レンガは堺から、石垣の石は高槻城のものが運ばれてきたそうです。レールの標高は茨木駅(茨木停車場)付近では14メートルくらいです。この高さから緩い勾配をつけて茨木川や安威川の堤防にレールを伸ばす盛土をした結果、農業水路をまたぐ橋梁がいくつも出来たようです。



140年以上も経った今でも、現役続行中! 「田中のまるまた」 門の前橋梁(田中町一上泉町間)

ここは茨木市駅と安威を結ぶバスも通った街道です。レンガ造りの立派なトンネルで、「丸また」の通称で良く知られています。内部のレンガがねじれて積み上げられている「ねじりマンボ」(マンボは中部地方の方言でトンネル)が有名です。英国人技師ブランドルの設計で、「ねじりマンボ」は全国で28カ所しかありません。



・上段左:水平面と斜めのレンガのあいだに石の細工!・上段右:天井のねじれが見事・下段左:この幅をバスが通ったとは!・下段中:上から垂れ流る蔦が美しい雰囲気です・下段右:水の浸みだし模様が時の経過を感じます

大人気!! いばらき観光ウォーク

いばらき観光ウォーク 応募方法

応募締切日までに往復ハガキ、またはメールにて代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数、希望コースをお書きの上、右記宛先までお送り下さい。

〒567-0888 茨木市駅前4-6-16
茨木市市民総合センター2階 茨木市観光協会宛
メール w-info@ibaraki-kankou.or.jp

2月 パワースポットコース
平成29年2月18日(土)



疣水神社や倍賀春日神社、総持寺など茨木を横断する半日コースです
■歩程距離:約6km
■参加費:300円(観光協会会員は200円)
■応募締切:平成29年2月10日(金)

3月 川端康成の幼年期から
青春を歩く
平成29年3月12日(日)



川端康成の旧跡と周辺、学んだ旧制中学、文学館などを訪ね、康成の生い立ちを学びます。
■歩程距離:約11km
■参加費:300円(観光協会会員は200円)
■応募締切:平成29年3月6日

4月 郡山丘陵コース
平成29年4月1日(土)



郡さくら公園や郡山宿本陣、郡山寺内町跡など郡山地区を巡ります。
■歩程距離:約6km
■参加費:300円(観光協会会員は200円)
■応募締切:平成29年3月24日

編集後記

- 総持寺の高架下バス通りにもレンガ造りが見れますが、JR新駅の工事で今後どうなるか分からないので取り上げませんでした。せめて丸また(門の前橋梁)だけはずっと遺して欲しいですね。(石童子君)
- レンガ造りのトンネルってよく工夫されて造られているんですね!童子くんも新しい発見にビックリしていましたよ!!(いづむ)
- 取材陣を乗せた車中にて、ムフフな情報を耳

- にし歴史の裏側を覗き見た気分。「いばらきのねと」は、そんな物知り取材陣と一緒に一段、一段、階段を上っていくんだらうな。きと。(まれすけのドライバー日記)
- マルマタのレンガ、いろんな表情を見せてくれます。スマホで撮って壁紙に...(TAD)
- 街の身近なところに、現役で機能している140年前のモノがあるって、すごいな~! ※私は頭あたりません。(よんよん)

注目 フレンド会員募集!

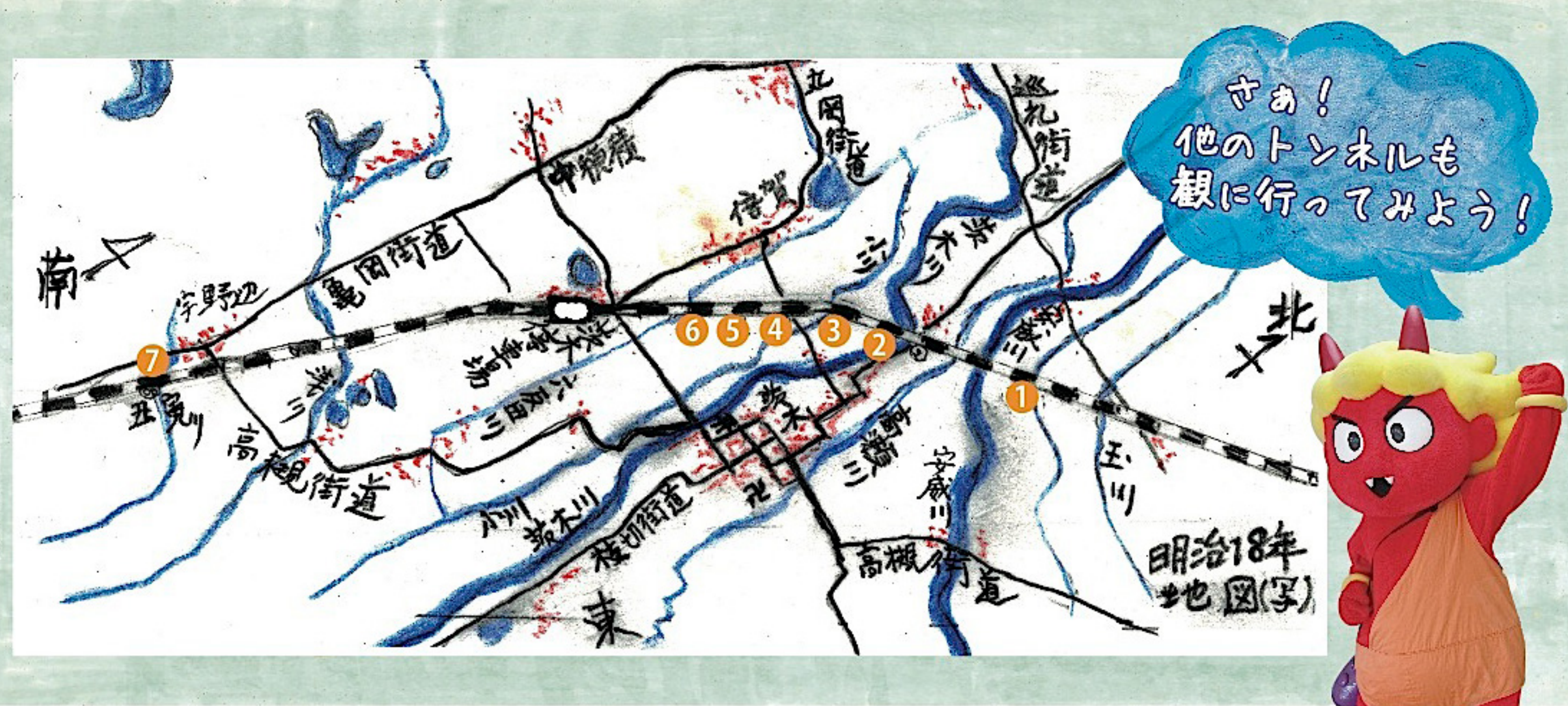


年会費2,000円で茨木市内の約70店舗で特典サービスが受けられるフレンド会員カード。

■観光協会 電話:072-645-2020
■HP:http://www.ibaraki-kankou.or.jp/
■茨木市観光協会の窓口で登録できます。

vol.25 2017 夏号
次号は5月発行予定!
お楽しみに!!

観光協会事務局
などで配布予定です



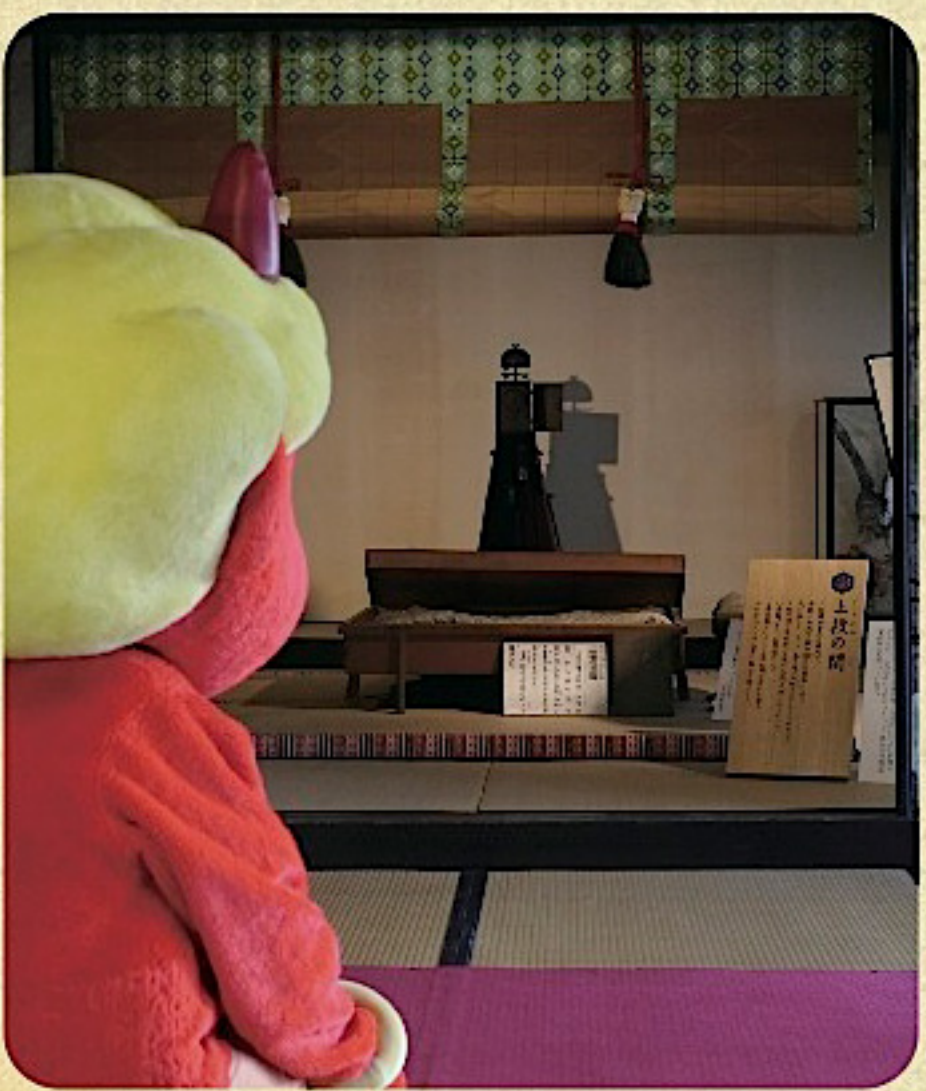
郡山宿本陣 (椿の本陣)

春の公開が間近だよ! 3月4日より3月12日まで
今回は春の一般公開の前に茨木童子君が一足早く見学に行ってきました



当主の榎洪 (かじたけし) さんと縁側で仲良くパチ!

西国街道は京都と西宮を結ぶ脇街道です。でも西国大名の多くは京街道を通らず、経費節約もあってここを通りました。西国街道(別名は山崎通<ヤマザキミチ>)には五つの宿場がありましたが、本陣が残っているのは、唯一ここだけです。
享保3年(1718年)に火事で焼失しましたが、その3年後には再建されています。つまり約三百年の重みがある国指定の史跡です。



①川田橋梁



(西河原1丁目-庄1丁目間、三島中学校の南)

水路の上に歩道も増設しています。乱積み石にレンガはイギリス積みとか。新駅(駅名募集中、1月11日から2月28日まで)ができれば近道として利用者は百倍増だね。



両側の石垣の中に謎のレンガアーチが二連、アーチの内側も石垣が埋め込まれています。このアーチは圧力を分散させて全体の強度を増すためらしいです。鉄橋北西の外側には昔の堤防(土手)が残っています。



②茨木川橋梁



(元茨木川緑地と川端通りを跨ぐ)

③尻戸三橋梁、尻戸三連避溢橋



(春日4-上中条2間)

尻戸とは小字の地名。避溢橋とは、盛土によって上流部に水が溜まりやすくなり、その悪水を早く引かせる為の橋です。普段は真ん中の水路(小川水路)にちよっと流れていますが、大雨で春日に洪水が来たら三連全てを水はけに使うという事です。現在、京都側の一連は車道に使われています。



(春日4-上中条2ノ1間)

④大塚橋梁

春日郵便局を東に行くにあります。水路の上が歩道で、車道と段差になっていて自転車や単車、軽自動車はやっと通れる幅です。レンガはイギリス積みでアーチ状となっています。この道は東に行くくと丹波橋に、西はくわって亀岡街道の丸岡に繋がります「丸岡街道」とよばれていました。

⑤竹の鼻橋梁



(春日3ノ6-上中条1ノ4間)

地元の方以外でここを知っている人は本物の茨木通、隠れた抜け道です。入口も出口もコンクリートで真ん中にレンガが残っています。写真撮影の腕が試されるスポットでしょう。

⑥丁字橋梁

今回紹介した中で一番低く、160cmの人なら頭をぶつけます。水路(六反田川)に蓋をした上を歩きます。春日商店街から税務署やクリエイティブセンターに行くには近道になります。



(蔵垣内1-丑寅1間)

⑦丑寅川橋梁

丑寅川が流れ、その大阪側に歩道が設置されていますが、ここには残念ながらレンガが取り外され残っていませんでした。ちょっと面白いことに川底までびっしりと石垣が組まれていたので載せました。



御成門 (おなりもん)



屋敷の西側にあり、大名が休泊する際には家紋入りの幔幕と提灯が掲げられました。屋根をよく見ると優雅さを醸し出す微妙な曲線があります。門を入った左手すぐの場所に、二代目の五色の椿と大きなクロガネモチの木が目に入ります。一代目の椿が毎年五色の花を咲かせたことから、別名「椿の本陣」と呼ばれていたのです。



カマヤ

大きなクド(かまど)があります。これは復元したのですが5連とは凄い、鍋の大きさで使い分けするのでしょうか。

玄関を上った広間

いろんな資料が一杯あり、真ん中にあるガラスケースにも床の間にも天井にも、貴重な資料・文化財があり目移りします。運が良ければ90歳をすぎてもお元氣な榎さんのお話を拝聴できます。



上段の間

大名が宿泊した部屋です。殿さまが休息される場所は二重の畳(二畳台敷)が敷かれ床下から槍や刀で突かれるのを防ぎます。



童子君が継の間で殿さまにお目通りしているポーズです!



お庭

丸亀藩京極能登守から拝領した茶室や米蔵、納屋は母屋の北側にあります。茶室には入れませんが、米蔵と納屋には興味深い資料が展示されていますので見学してください。

